

「事故車にもオークション時代が到来！！」

～ 業界初！あいおい損害保険が「全損車両ネットオークションシステム」を構築 ～

平成16年2月2日

あいおい損害保険株式会社（社長 瀬下 明）は、2005年1月施行予定の自動車リサイクル法への対応として、損害保険業界初の画期的な「全損車両ネットオークションシステム」を2003年12月から立ち上げました。国内最大手のリサイクル部品業者であるNGPグループの協力のもと、本システムを活用することにより、リサイクル部品の流通促進と廃棄自動車の適正処理を推進します。

1. 開発の背景

自動車リサイクル法施行を目前に控え、企業や一般消費者の環境・リサイクルに対する気運が益々高まっています。当社顧客をはじめ、官公庁やリサイクル部品業界からの損害保険会社への期待は大きく、環境への貢献が必要であると認識しています。

2. 開発の狙い

- リサイクル部品の流通促進による環境問題への貢献
- 廃棄自動車の適正・適法処理推進による不法投棄の防止
- 廃棄自動車の車体番号を悪用した盗難事故の防止
- 再生車両提供によるディーラー・モーター代理店への本業支援

3. 内容

「全損車両ネットオークションシステム」の内容は別紙のとおり

4. 期待効果

本オークションシステム導入による保険金回収の年間効果額として2005年度までに以下を見込んでいます。

再生車両効果額	...	120百万円
部品取り車両（廃棄自動車）効果額	...	60百万円
合計		180百万円

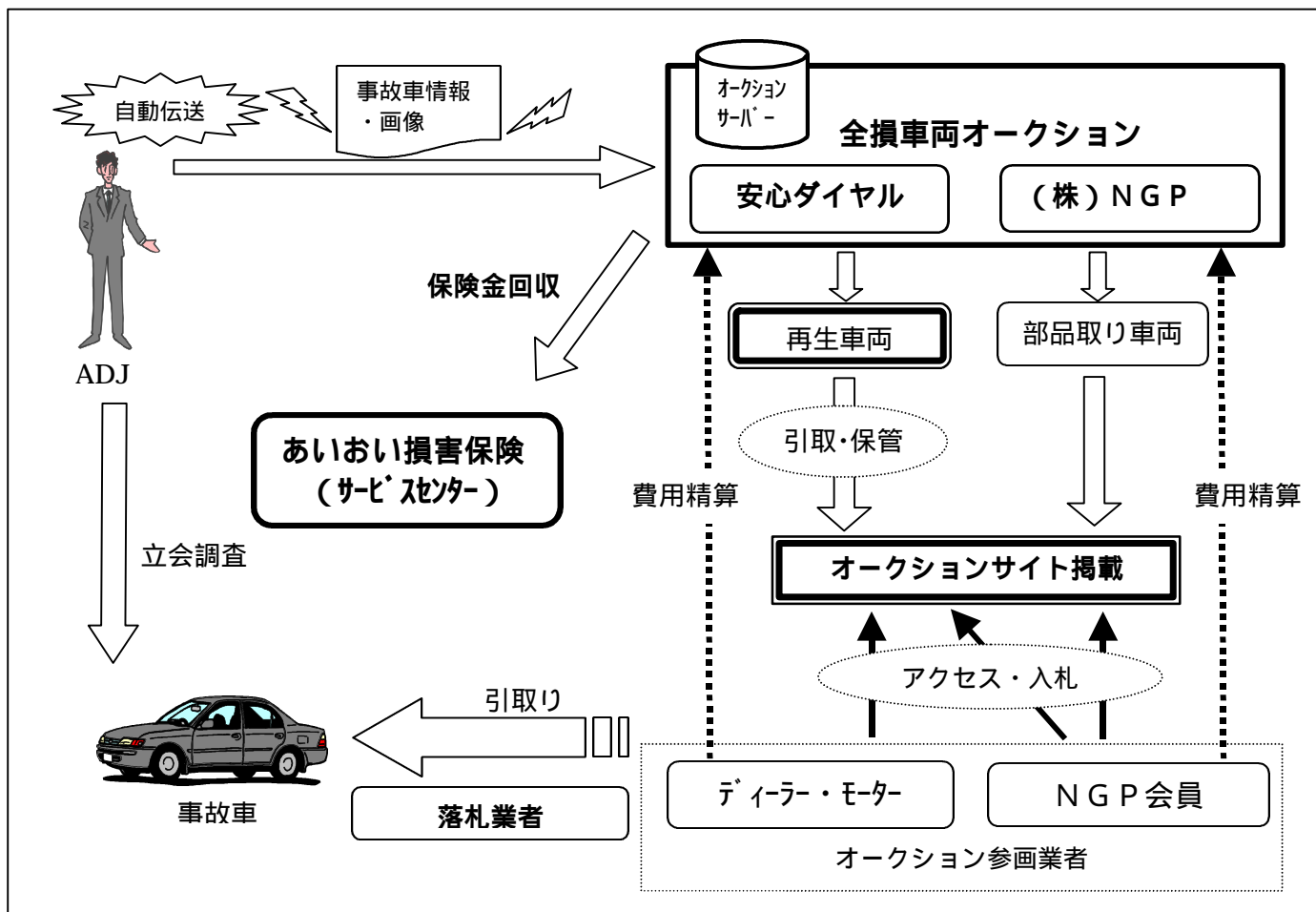
02年度700百万円の回収金が05年度880百万円となる見込み

5. 今後の展開

再生車両のオークション入札業者として、当社ディーラー・モーター代理店も対象とし、現状130社を04年度中に1,000社程度まで拡大予定です
ネットオークションのノウハウを蓄積することにより、代理店・顧客サービスの一環として保険事故車以外の出品も検討します

以上

【全損車両オークションフロー】



【内容】

システムリリース時期

- ・ 2003年12月22日リリース
- ・ 当社が提携する(株)NGPと共同開発

対象車両・台数

- ・ 車両・対物保険で全損保険金を支払うことによって当社が取得した車両
- ・ 再生車両台数：1,800台 部品取り車両：12,000台(2004年度見込み)

特徴

アジャスターの修理費見積システムと連動しており、全損と評価した車両の画像・事故車データが自動的にオークションサーバーへ伝送される

オークション参画業者

- ・ 2004年1月現在、NGPグループ 130社
- ・ 2004年2月から当社ディーラー・モーター代理店へ参画を呼び掛け2004年度中に1000社の参画を見込む

【用語解説】

- ・ 再生車両 ... 保険会社が全損と認定した車両のうち、市場価値が高く修理後に中古車として販売可能な車両。
- ・ 部品取り車両... 使用可能なリサイクル部品を取り外した後に廃棄処理される車両。不法投棄する悪質な業者もあり、環境問題で取上げられることも多い。
- ・ NGPグループ... 在庫点数約100万点、リサイクル部品市場の40%以上のシェアを持つ最大手グループ。130社の解体・リサイクル部品業者から成り、2000年5月にあいおい損害保険(当時は大東京火災)と単独提携している。